

特集2 ハイテク推進セミナー

## 災害に強い街づくり

### ～関西圏の都市・建築・企業を災害から守る方策～

日時：2019年10月31日(木) 10:00～17:00

会場：島津マルチホール（阪急ターミナルビル14階）

主催：一般社団法人 生産技術振興協会

共催：一般社団法人 大阪大学工業会

後援：国土交通省近畿地方整備局・近畿経済産業局・大阪大学構築会・  
大阪商工会議所



#### 〈開会挨拶〉

大阪大学大学院 工学研究科 教授

(一社) 生産技術振興協会理事 事業企画委員

山中 俊夫

地球温暖化に伴う異常気象により、地域での豪雨が頻発し、海水面温度の上昇による台風の大型化や高潮は、現代社会に大きな影響を及ぼしつつあります。また、日本周辺の地殻へのエネルギーの蓄積は、南海トラフを中心とする地震のリスクを高めており、地震時の建物や都市基盤の崩壊や津波による人的・物的被害に対する影響は計り知れないものがあります。日本全国のなかでも、特に高密度化された関西の都市圏では、水害や台風、地震による大規模被害の危険性が高く、街の構成要素である地盤・住宅・ビルの耐震対策をはじめとする様々な災害対策が不可欠と言えます。

また、人命、社会資産の保護ともに、企業の事業継続計画（BCP）のためにも、災害に対して強い街づくりが、今強く求められています。企業活動の観点からは、防災・減災対策を行った企業ほど、短期間で売上を回復できるともいわれ、被災前における自然災害への備えが重要と言えます。企業の防災・

減災対策は、BCP と関連づけられますが、BCP の策定率は全体の2割以下にとどまり、なお一層の取組みが必要と言えます。

以上の様な社会的背景から、街を災害から守るためにいま我々は何をなすべきかを考え、企業、学術、行政など様々な視点から討論を行うことを目的として、「災害に強い街づくり～関西圏の都市・建築・企業を災害から守る方策～」と題するハイテク推進セミナーを開催いたしました。会場は満席となり、多くの皆様のご参加をして頂くことができました。ここに改めてお礼申し上げますとともに、お申し込みを頂いたにもかかわらず、満員でご参加頂けなかった方々にお詫び申し上げます。本特集はご講演を頂いた方々から、当日のご講演内容について、ご寄稿を頂いたもので構成しています。より多くの読者の方々に有益な資料としてご活用頂けることを願い、巻頭のことばとさせていただきます。